

2023年3月期決算説明資料

Printing for the Next

2023.6.13三光産業株式会社
(東証スタンダード：7922)



Contents

- 01 会社概要
- 02 業績
- 03 今後の事業展開
- 04 SDGs
- 05 財務戦略/株主還元



Contents

- 01 会社概要
- 02 業績
- 03 今後の事業展開
- 04 SDGs
- 05 株主還元/資本政策

わたしたちは ...

特殊印刷の総合メーカーです。



三光産業は、電気機器、自動車業界をはじめ、医療、食品、
広告及び各種インフラ関連など業種や業界の枠組みを超えて活動しています。
それらの多様なニーズに応え、高品質な製品を供給することで、
お客様に満足していただき、ひいては社会に貢献すること。
これが特殊印刷の総合メーカーとして、私たちが目指すビジョンです。

※特殊印刷：粘着剤付きの材料への印刷（主にシール・ラベル）

Product

様々な商品に三光産業の製品が
採用されています。



取扱製品

<https://www.sankosangyo.co.jp/service/>

顧客の課題



Service

印刷加工製品における
お客様ニーズの具現化



当社が選ばれる理由

豊富な
加工実績

高い
品質管理

ラベルシェア
7年連続1位

年間取扱点数
24,000点

取引実績
3,000社

UL/CSA
ISO9001
ISO14001

Company

企業名	三光産業株式会社
設立日	1960年4月1日
資本金	18億5075万円
代表者	石井正和
事業内容	加飾パネル 及びラベル・ステッカーの製造販売
海外子会社	マレーシア、タイ、中国
関係会社	トムズ・クリエイティブ アクシストラス ベンリナー
従業員	連結360名(2023年3月末)
HP	https://www.sankosangyo.co.jp

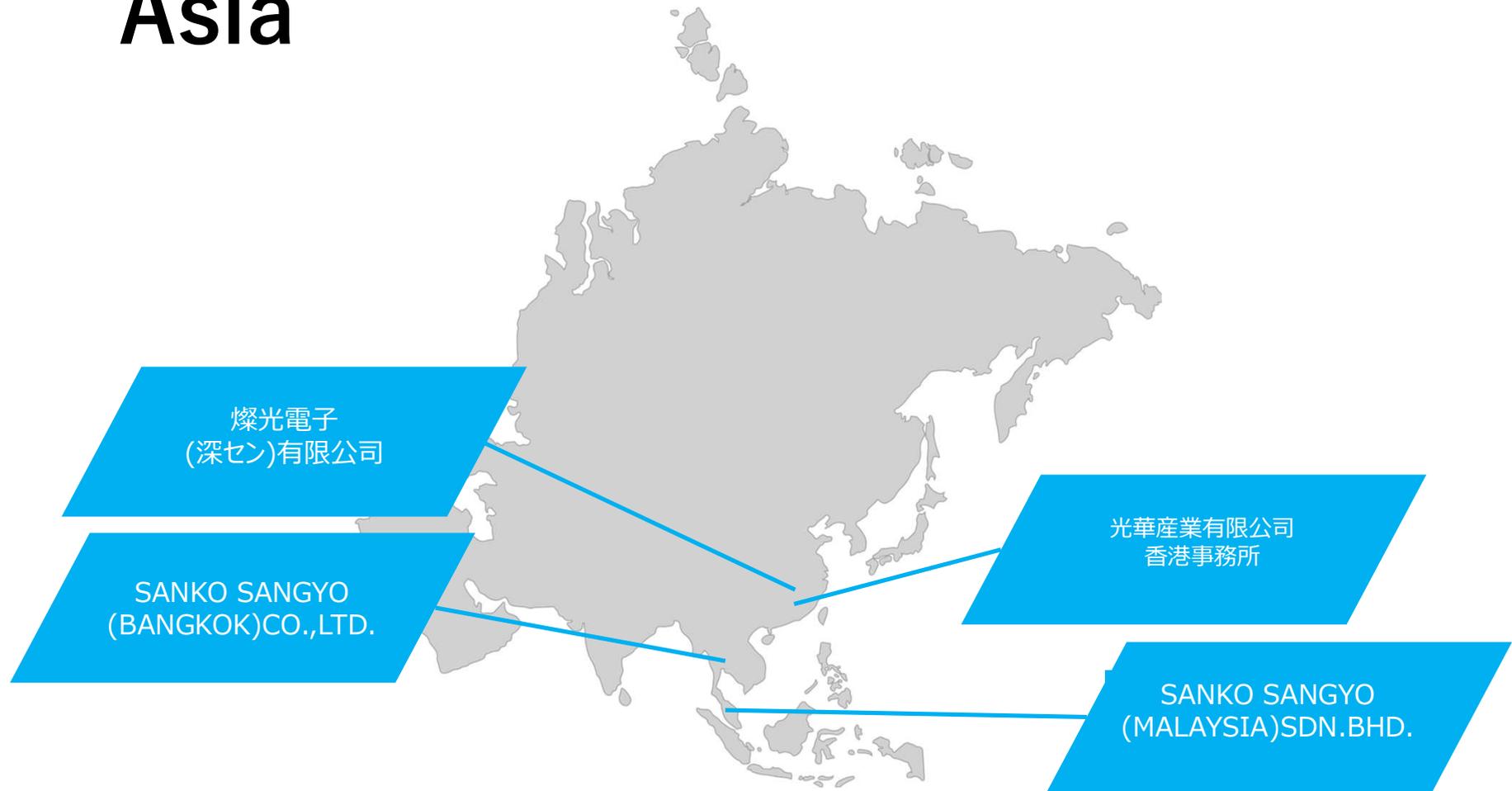
History

1951	創業者土田精三は、米国3M社製スコッチライトの日本総販売店として前身会社の三光通商を創業
1960	三光産業株式会社設立 粘着剤付のステッカー材料のノウハウを駆使し、国産材料を使用したラベル、ステッカーの製造販売を開始。
1962	大阪営業所（現大阪支店）開設
1967~85	日本各地に営業所・工場を設置 方南工場(1967)、名古屋営業所(1972)、千曲川工場 ※現長野工場(1973)、川越工場(1982)、大阪工場(1985)
1988	マレーシアにSANKOSANGYO(MALAYSIA)設立
1989	資本金18億5075万円に増資、店頭公開株として株式上場
2000	香港に子会社光華産業有限公司を設立
2002	東京都板橋区に三光プリンティング株式会社を設立
2004	株式店頭登録を取消し、ジャスダックに上場
2007	中国に燦光電子(深セン) 有限公司を設立
2015	タイにSANKOSANGYO(BANKOK)設立
2016	方南工場及び三光プリンティングを長野工場に集約
2018	ベトナムにSANKOSANGYO(VIETNAM)設立
2019	株式会社トムズ・クリエイティブの全株式を取得 燦光電子(深セン) 有限公司の工場を閉鎖し販売会社化
2020	SANKOSANGYO(BANKOK)の工場を閉鎖し販売会社化 SANKOSANGYO(VIETNAM)の解散決議
2022	スタンダード市場に移行 株式会社アクシストラスの全株式を取得 株式会社ベンリナーの全株式を取得

Japan



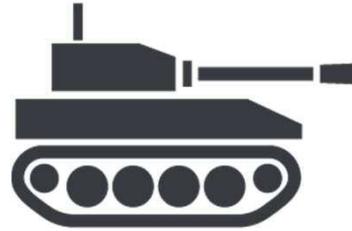
Asia





Contents

- 01 会社概要
- 02 業績**
- 03 今後の事業展開
- 04 SDGs
- 05 株主還元/資本政策



2023年3月期



2023年3月期決算ハイライト

売上

9,814^(102.3%)

アクシストラス、ベンリナーの
子会社化

売上総利益

1,871^(103.0%)

基幹システム導入による
製造効率化

営業利益/損失

▲56

子会社株式取得費用
91百万円

経常利益/損失

44

為替差益
77百万円

特別利益/損失

186/▲30

マレーシア大雨被害受取保険金
178百万円

当期純利益

147

※子会社の決算数値取込期間は下記の通りです。

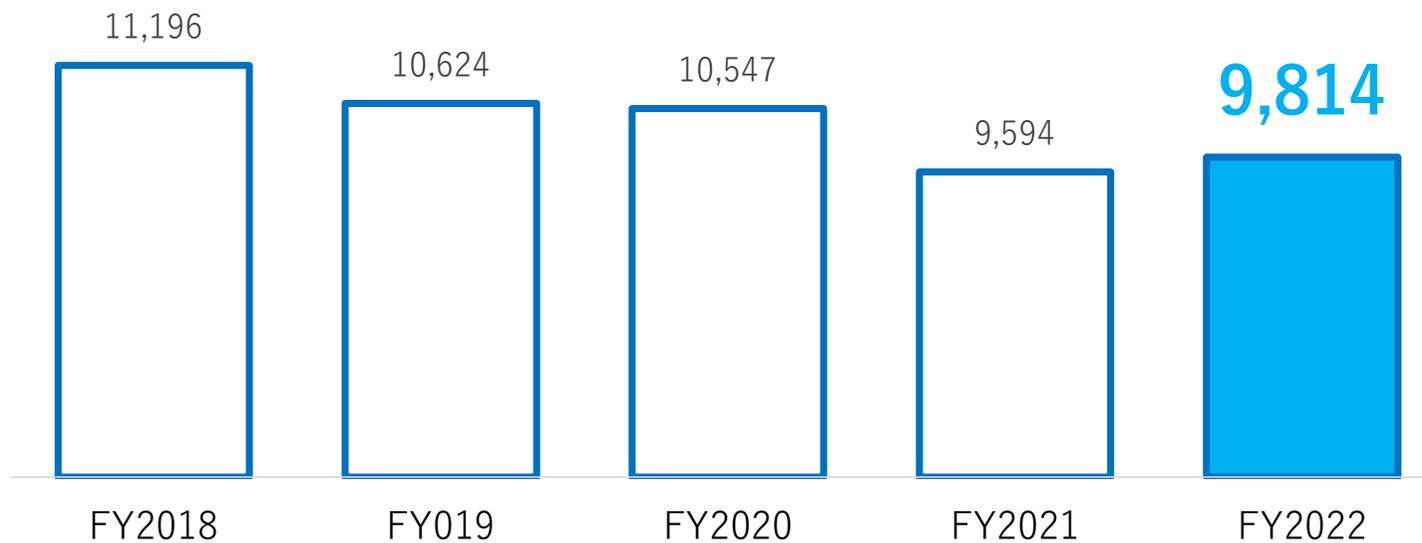
- ・アクシストラス：9ヶ月間
- ・ベンリナー：2ヶ月間

連結業績（売上）

（百万円）

増収

アクシストラストとベンリナーを子会社化

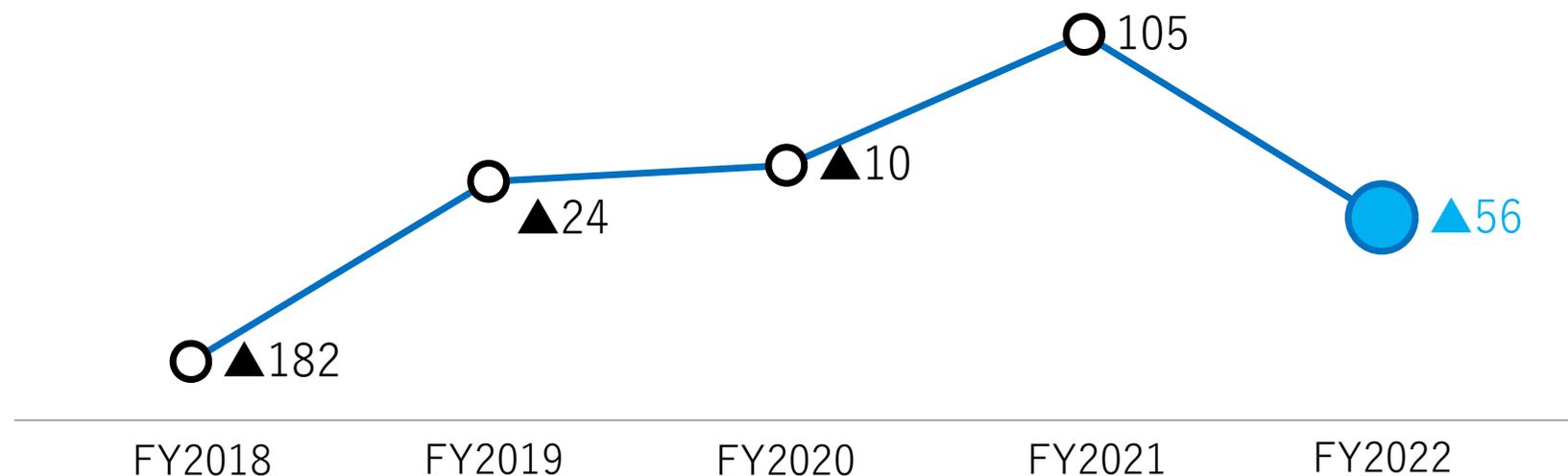


連結業績（営業利益）

（百万円）

減益

- ・ 基幹システム導入による製造効率化
- ・ 子会社株式取得費用91百万円を販管費に計上



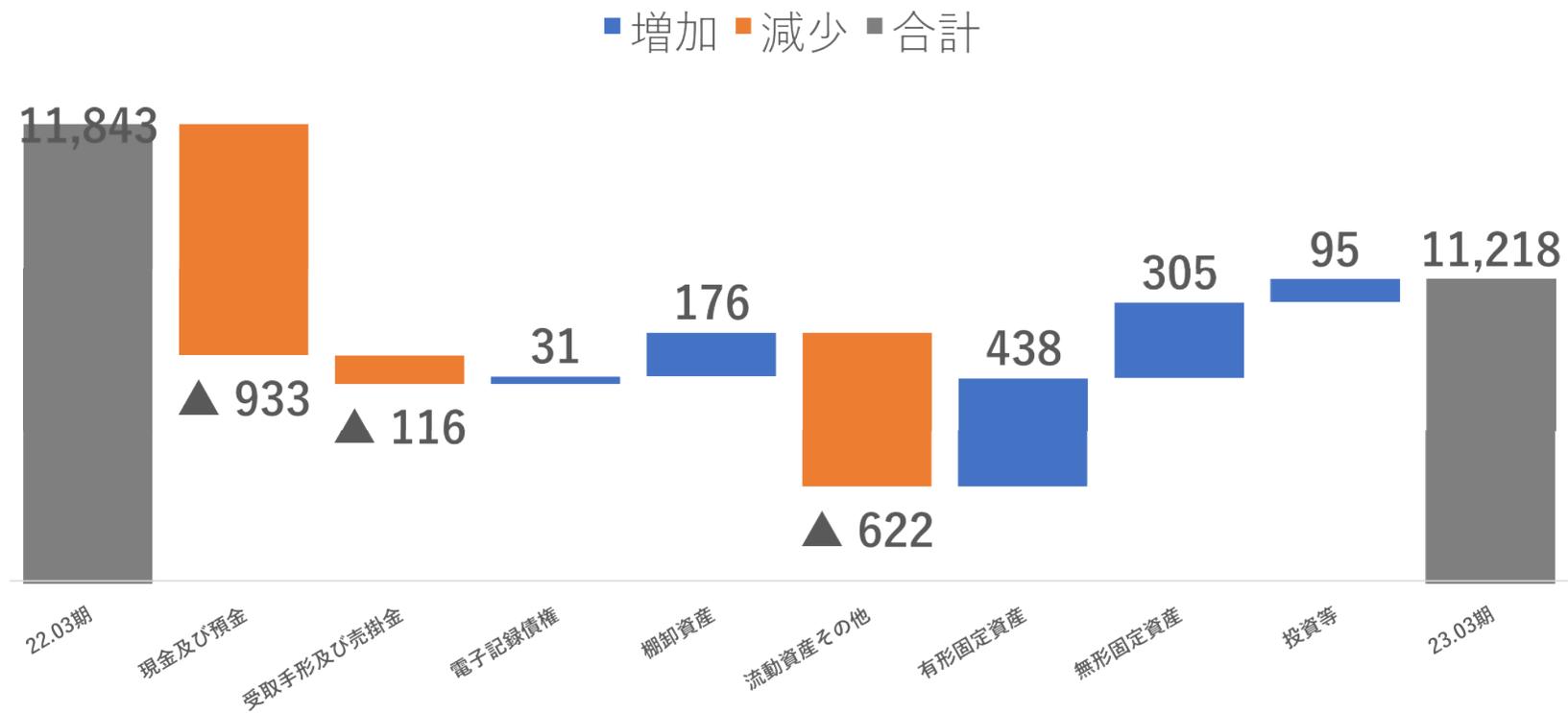
連結業績 (推移)

(百万円)

	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	前期比
売上高	11,196	10,624	10,547	9,594	9,814	102.3%
売上総利益	1,840	1,826	1,673	1,817	1,871	103.0%
売上総利益率	16.4%	17.2%	15.9%	18.9%	19.1%	0.2pt
販管費	2,022	1,851	1,688	1,712	1,927	112.6%
営業利益	▲182	▲24	▲15	105	▲56	△53.3%
営業利益率	▲1.6%	▲0.2%	▲0.1%	1.1%	▲0.6%	-
経常利益	▲115	▲8	115	116	44	37.9%
特別利益	0	19	1	112	186	
特別損失	106	396	163	180	30	
税金前当期純利益	▲220	▲386	▲46	47	200	
当期純利益	▲238	▲393	▲133	35	147	420.0%

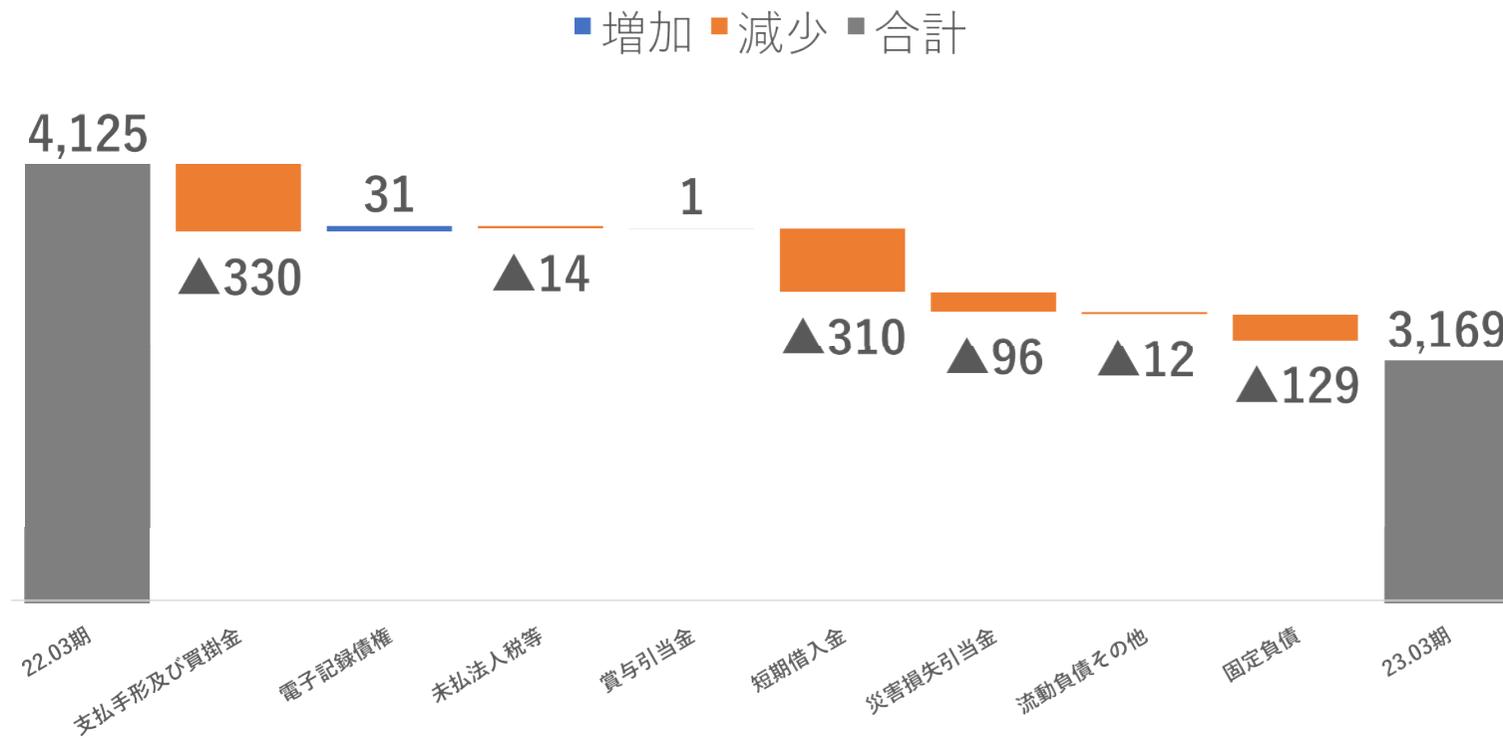
総資産残高

(百万円)



負債総額

(百万円)



連結BS（詳細）

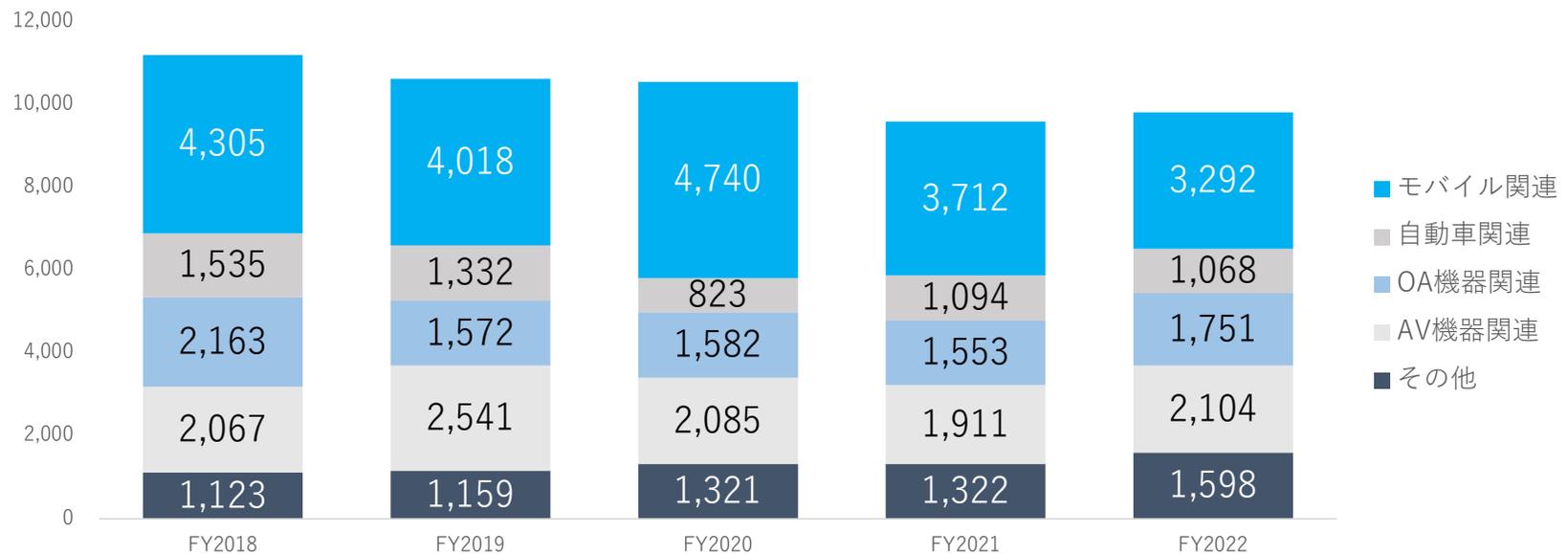
（百万円）

	FY2021	FY2022	増減	前期比	Remark
流動資産	8,182	6,717	▲1,465	82.1%	
現預金	2,949	2,016	▲933	68.4%	子会社株式取得▲1,009
固定資産	3,659	4,499	840	123.0%	ベンリナー有形固定資産+431 のれん+376
総資産	11,843	11,218	▲624	94.7%	
流動負債	3,629	2,802	▲826	77.2%	外貨借入精算▲407
固定負債	496	366	▲129	73.8%	長期借入金▲100
純資産	7,717	8,049	331	104.3%	利益剰余金+130

売上構成(カテゴリー)

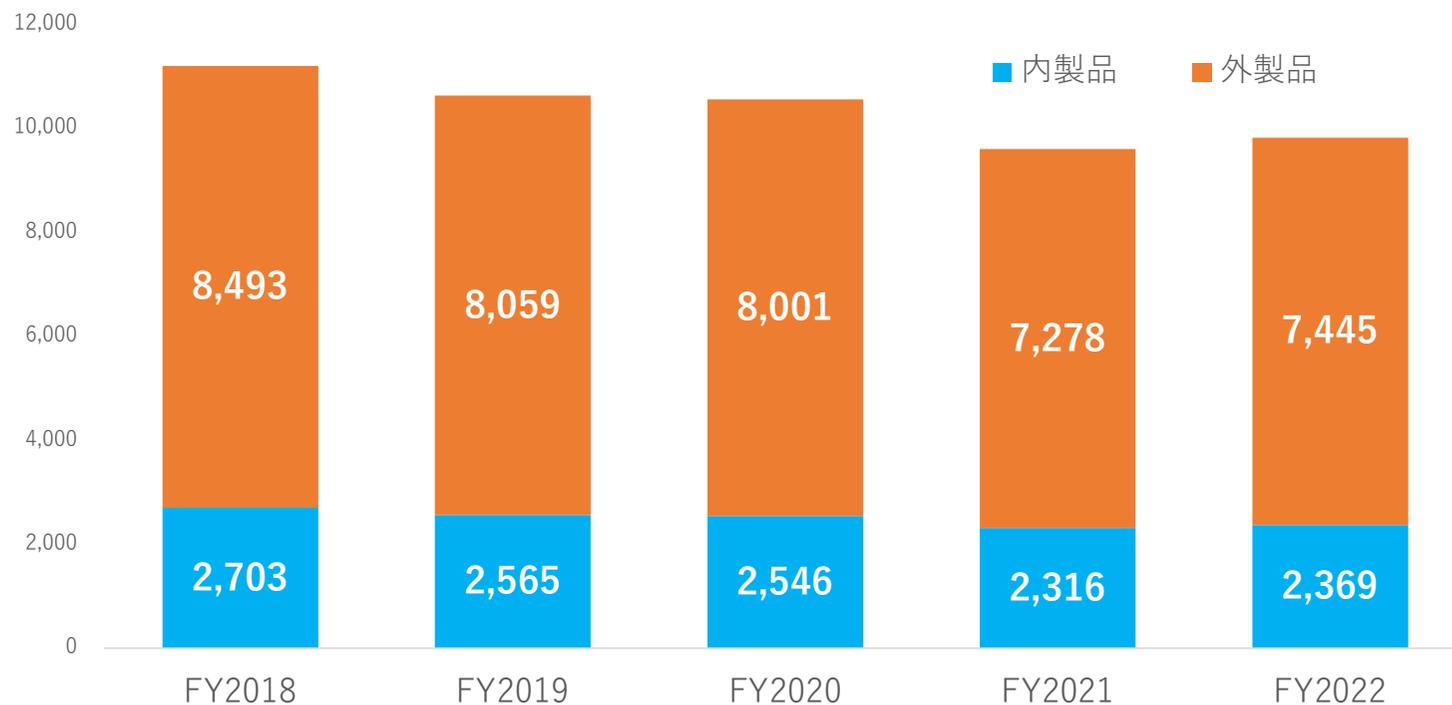
(百万円)

- ・ モバイル関連以外は概ね前年から増収
- ・ モバイル関連はコロナ禍におけるデジタル機器需要が落ち着き減収



製品カテゴリー

(百万円)



外製品

- ：協力工場製造
- パネル、その他関連部品
- トムズクリエイティブ
- アクシストラス

内製品

- ：自社工場製造
- ラベル・ステッカー
- ベンリナー

※今年度より自社で製造がほぼ完結する製品を内製品と区分することといたしました。
それに伴い、過去年度分もを修正させて頂きました。

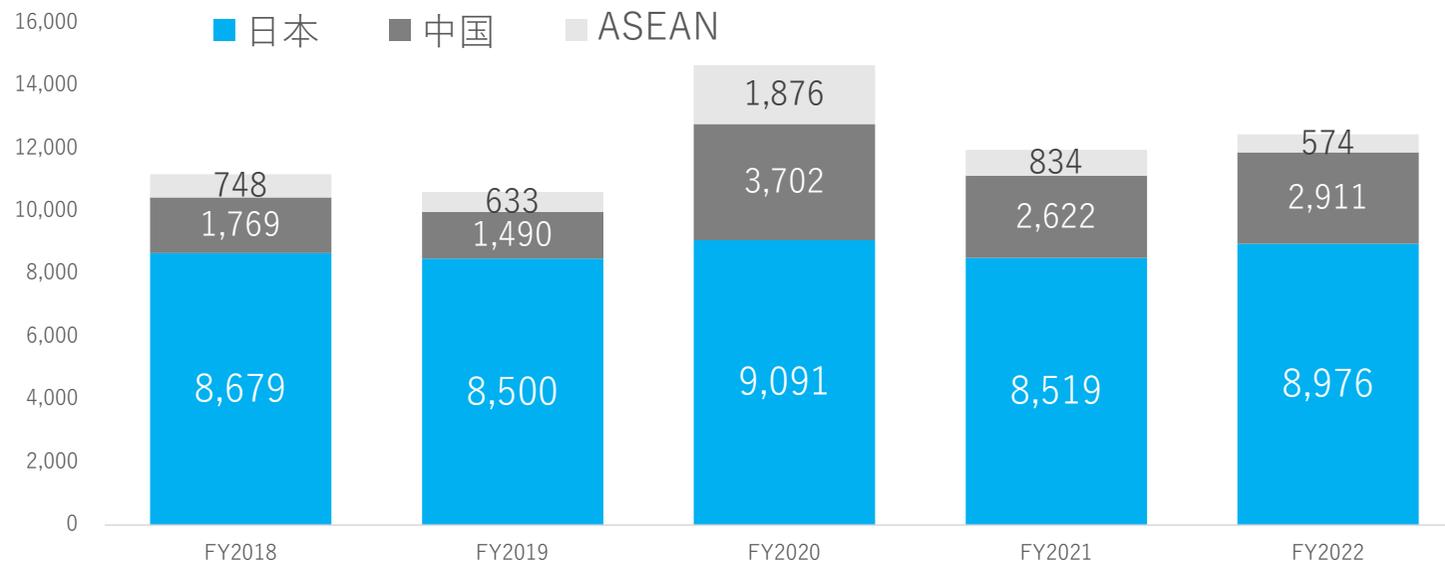
セグメント（売上）

（百万円）

日本
アクシストラス、ベンリナー追加

中国
微増

ASEAN
大雨被害の影響から回復途中



※1 各セグメントの売上には内部売上又は振替高を含めております。

※2 日本セグメントにはトムズ・クリエイティブ、アクシストラス、ベンリナーを含みます。

セグメント（営業利益）

（百万円）

日本

子会社株式取得費用91百万円



中国

FY2019の工場閉鎖から安定



ASEAN

大雨被害の影響から回復途中



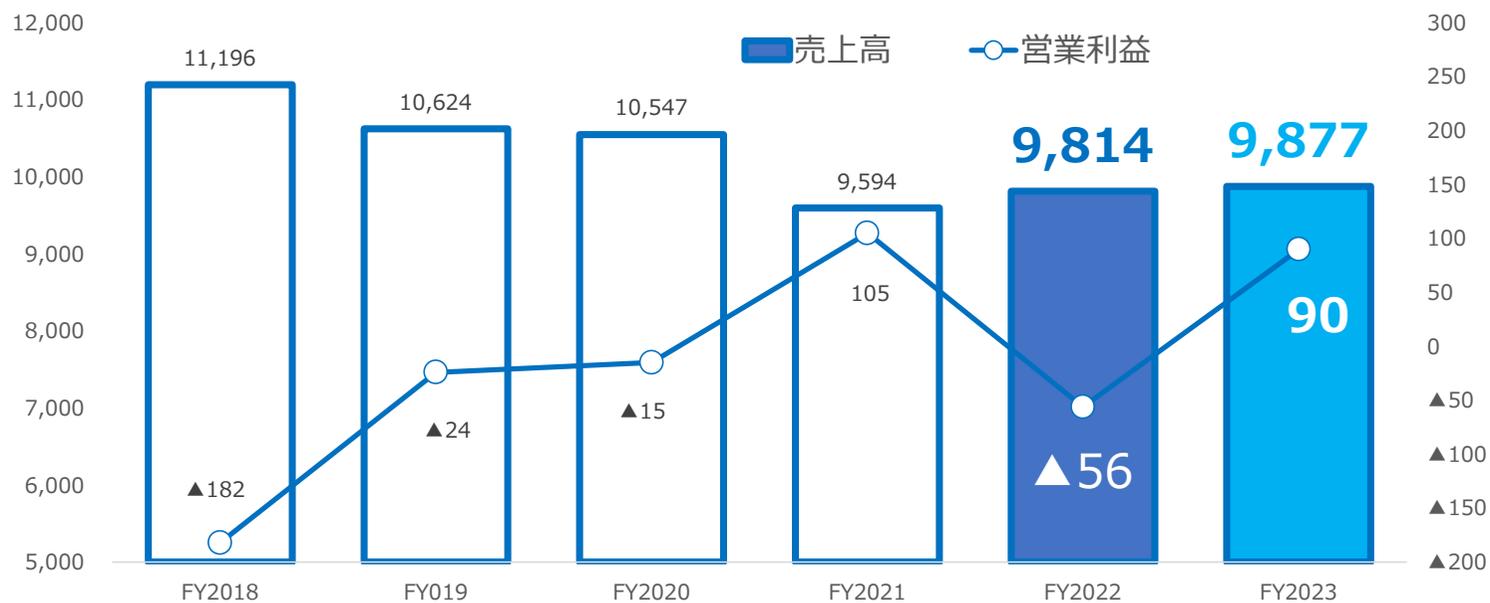
	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
日本	▲5	69	▲55	▲10	▲60
中国	▲187	▲46	27	25	30
ASEAN	▲6	▲65	▲31	106	▲9

FY23業績予測

(百万円)

増収増益予測

- ・ シール、ラベル、パネル事業は微増と予測
- ・ 子会社化した2社分の営業利益が増加





Contents

- 01 会社概要
- 02 業績
- 03 今後の事業展開**
- 04 SDGs
- 05 株主還元/資本政策

成長戦略

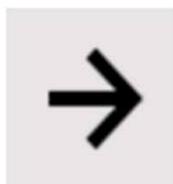
シール・ラベル事業からスタートした当社ですが、現在は液晶端末の表示面パネル、カメラモジュールなどビジネスの幅を拡大しております。また電機業界以外にも親和性の高いビジネス領域へ裾野を広げております。

事業投資



- 2019 株式会社トムズ・クリエイティブを設立
マスク製造事業を開始
- 2022 株式会社アクシトラスの全株式を取得
株式会社ベンリナーの全株式を取得
東京グレートベアーズとのスポンサー契約
- 2023 ? ? ? ?

市場環境



業界	今後の見通し
スマートフォン	部品単体の販売から関連部品を含めた販売
自動車	EV市場活況の受注伸長
教育	デジタル化による新たな市場の創出
販売システム	セルフオーダー端末の需要増大
医療	高齢化による需要増
FA	企業の設備投資増加傾向により伸長
物流	EC市場活況により伸長
ノベルティ	セールスプロモーション市場の回復に期待
スポーツ	スポーツ市場規模の拡大
エネルギー	再生可能エネルギーの需要増
業界	今後の見通し
AV	国内外の売り上げ規模は横ばい～減少傾向
OA	法人向け市場の前年比減少傾向
衛生	Covid-19 5種引き下げにより横ばい～減少傾向

トムズ・クリエイティブ



シナジー戦略でビジネス拡大

セールスプロモーション市場が回復しており、
受注量の拡大が見込まれます。



※実際の商品とは異なります（イメージ図）

ナノAG+AIRマスク



project story
開発ストーリー

三光産業が60年にわたって培った印刷技術が、無敵マスクを生み出しました。

生産の秘密
ロール状の原材料からフレキシブルな印刷する特殊印刷の技術を活用する。
組合印刷メーカー

2020年11月
独自の印刷技術を活かした
ナノAG+AIRマスク 販売スタート
累計700万枚

2021年3月
人工シルク・ヒアルロン酸配合
ナノAG+AIRマスク
「SILKY FIT Premium」
販売スタート

2021年11月
ナノAG+AIRマスク (SILKY FIT Premium) をリニューアルした
無敵マスク 販売スタート

ナノAG+AIRマスク

医療用として不織布マスク最高レベルの

JIS T 9001

医療用クラスIIIの認証を取得

プレスリリース / 関係者各位

2023年 3月8日

JIS T 9001 医療用マスク クラスIII 認証取得

三光産業株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石井 正和）は、ナノAG+AIRマスクSILKY FIT Premium（通称：無敵マスク）がJIS T 9001 医療用クラスIIIの認証を取得しましたのでご報告致します。医療用として不織布マスク最高レベルのクラスIIIの認証を取得しておりますので医療関係者様や病院内におかれましても安心してご使用いただける性能となっております。ウイルス対策・花粉対策としてマスクが生活必需品となっている昨今、弊社マスクが安心してご使用いただける性能であることをあらためてご報告致します。また、シリーズ累計販売数700万枚を突破致しました。日頃よりご愛顧いただき、誠にありがとうございます。引き続き、ご愛用いただけますと幸いです。

- 代表品名 ナノAG+AIRマスク シルキーフィットプレミアム
- 区分 医療用・クラスIII
- 品番・型番 ナノAG+AIRマスク シルキーフィットプレミアム 箱 ふつうサイズ
- 関連品番 ナノAG+AIRマスク シルキーフィットプレミアム 箱 小さいサイズ
ナノAG+AIRマスク シルキーフィットプレミアム 袋 ふつうサイズ
ナノAG+AIRマスク シルキーフィットプレミアム 袋 小さいサイズ



○JANコード

○展開色 白

○適合番号 M32212006

○審査結果 [適合]

○審査内容

試験項目	判定
PFE(微小粒子捕集効率)	適合
BFE(バクテリア飛まつ捕集効率)	適合
VFE(ウイルス飛まつ捕集効率)	適合
花粉粒子捕集効率	適合
圧力損失	適合
人工血液/リア性	適合
可燃性	適合
遊離ホルムアルデヒド	適合
特定アゾ色素	—
蛍光試験	適合
機能等についての洗濯表示	適合

アクシストラス

2022年6月20日に空間専門ブランド「Yoitas」を運営する株式会社アクシストラスの全株式を取得いたしました。

コンパクト除湿機



ポータブル加湿器



サーキュレーター



Web通販サイト



ベンリナー

2022年12月22日に野菜調理器を製造・販売する株式会社ベンリナーの全株式を取得いたしました。

ベンリナー万能調理器



ベンリナー菜麺器（回転式スライサー）

◆高い技術力

伝統的な刃物の製造工程にこだわっており、独自の技術力により生産を行っている。100%自社生産でノウハウを蓄積し、他社との強い差別化を実現している。

◆全世界30カ国に販売

高いブランド力で海外の消費者からも高い支持を得ている。海外需要はコロナの巣籠もり需要も相まって非常に堅調。

◆プロから一般家庭まで使用

丈夫で壊れない、刃がよく切れるという口コミ・評判から高級レストランのプロの料理人からも選ばれている。フランスのミシュラン星付きレストランでも使用されている。

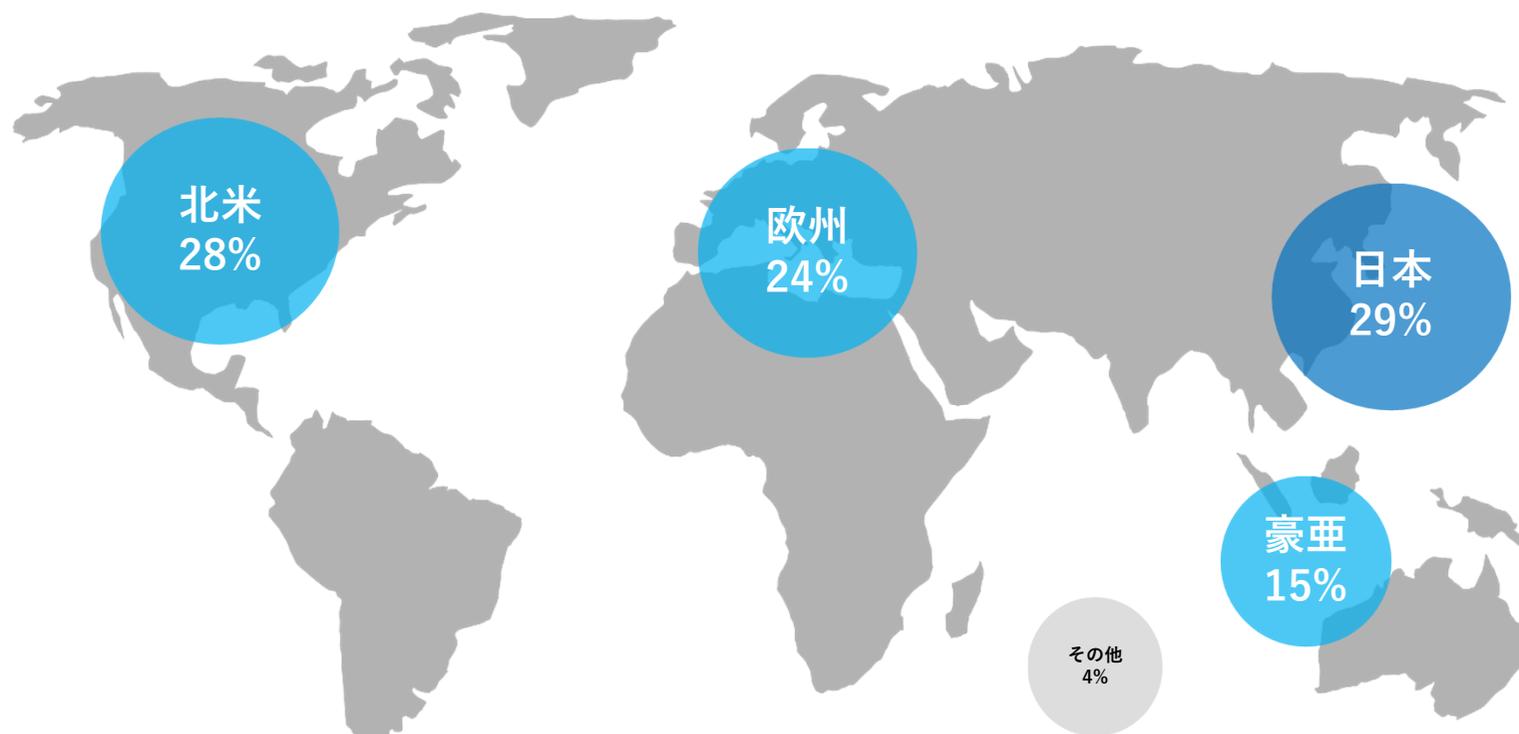
◆知名度が高い

民放の情報番組やNHKでも国内優良企業ということで頻繁に取り上げられている。

海外での販売が好調に推移しており、製造キャパシティ増強のための設備投資を計画進行中であります。

三光産業グループの収益の柱のひとつとしての成長を期待

ベンリナー



海外売上比率：71%

投資

ソーシングブラザーズと共同で コーポレートベンチャーキャピタル運営を推進

事業シナジーが期待されるスタートアップの出資を通じ、
将来的な戦略的リターンの確保を目指します。



SOURCING
BROTHERS

設備投資

川越工場では
主力である食品玩具製品の製造において
2025年施行の改正食品衛生法への対応すべく
リノベーション工事を実施いたします。

投資金額：約3億円

投資内容：改正食品衛生法対応必須項目（エアシャワーの設置等）
老朽化対応（安全区画の整理等）



Contents

- 01 会社概要
- 02 業績
- 03 今後の事業展開
- 04 SDGs**
- 05 株主還元/資本政策

SDGs

Sustainability

三光産業は、「高い技術力、品質力で社会に貢献する」を企業理念に掲げ、さらに「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」という方針の元、すべてのステークホルダーとともにESG課題を解決し、持続可能（＝サステナブル）な社会実現に貢献します。当社はサステナビリティの取り組みのなかで11のマテリアリティ（＝重要課題）を特定しています。

三光産業のSDGsは2022年度に「ゼロ」からスタートし、三光産業が「SDGs活動」を開始したことを社内外に知っていただく事を主題として、サステナブル委員会（6名）を中心に活動を開始しました。

《2022年度の主な活動は以下の通りです》（※詳細は次項に記載しています）

- ◆ホームページで三光産業のSDGs活動を発信（「Sustainability」項目を追加しました）
- ◆全従業員へのSDGsバッジの配布
- ◆国内全事業所よりオフィサー（11名）を募集し、ABCの3チームに分かれて活動（日用品を環境対応型へ変更、一言多い貼り紙、ボランティア参加、寄付型自販機導入、地域クリーン活動）
- ◆マスクの寄付

《前年度からの継続活動》 ※ホームページにも掲載されています。

- ・エコキャップ活動（川越工場主導で全社で実施）
- ・ニチバン巻心ECOプロジェクト（川越工場主体）

SDGs

Activity Report

✓ クリーン活動



4事業所（本社/大阪支店/長野工場/川越工場）で地元自治会や自主的なクリーン活動に参加しています。

※2022年度は累計36回実施、延べ317名が参加しました。



✓ 寄付型自販機の設定



3事業所（本社/大阪支店/長野工場）に計4台の寄付型自販機を設置しました。売り上げの一部が社会貢献の為に寄付されます。



✓ ボランティア活動



マスクの寄付や被災地へのぞうきん寄付のボランティアに参加しました。



✓ SDGsの社内啓蒙活動



7種類の貼り紙を作成し、全事業所で掲示し、全社員へSDGs活動への参加及び啓蒙活動に取り組んでいます。





Contents

- 01 会社概要
- 02 業績
- 03 今後の事業展開
- 04 SDGs
- 05 財務戦略/株主還元**

財務戦略

資本コストや資本収益性を意識した経営を実現すべく
PBR1.0倍超をめざして参ります

	FY2020	FY2021	FY2022	(百万円)
売上 (百万円)	10,547	9,594	9,814	
純利益 (百万円)	▲133	35	147	
株価 (円)	382	326	663	
株式総数 (千株)	6,192	6,192	6,192	
EPS (円)	▲21.5	5.8	23.8	
PER (倍)	67.6	33.6	33.1	
PBR (倍)	0.3	0.3	0.5	
ROE (%)	-	0.5	1.8	
純利益率 (%)	-	0.4	1.5	
総資産回転率 (回)	0.9	0.8	0.9	
財務レバレッジ (%)	1.5	1.5	1.4	

財務戦略



配当について

財政状態、投資計画等を総合的に勘案して、安定配当を基本といたします。

7.0円

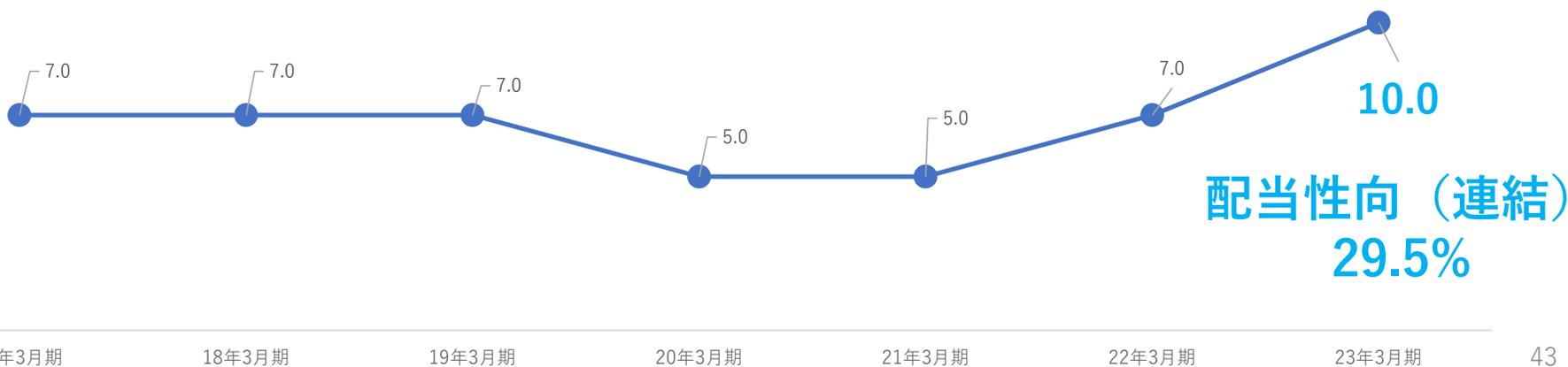
2022年3月期

10.0円

2023年3月期

増配目標

2024年3月期予測



本資料に掲載されている三光産業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実ではないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から三光産業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IRお問合せ

経営企画室 阿部 雅弘

T E L : 03-3403-8134

e-mail : m-abe@sankosangyo.co.jp

【Confidential】



EOF

2023.6.13

三光産業株式会社（東証スタンダード：7922）